



下館一高附属中生の
おすすめの本30冊

2024年度 附属中図書委員会

アリス殺し

作者:小林泰三



☆ミステリー・サスペンス好きにおすすめ
大学院生・栗栖川亜理は童話「ふしぎの国のアリス」の夢を見る。その夢はただのアリスの夢ではなく、夢の中でハンプティ・ダンプティが墜落死する夢だった。そんな夢を見た次の日、大学で研究員が墜落死した。そして、今度はグリフォンが窒息死する夢を見ると現実では教授が窒息死した。
夢の中の死と現実の中の死がリンクしている不思議な世界。そこにはどんな結末が待っているのか...

ビブリオバトル チャンプ本

妄想国語辞典

作者:野沢幸司



☆本を読むことが苦手な人・ことわざなどが好きな人におすすめ
テストにも出ない、日常的にも使われない、そんなくたなくもユーモアに溢れた言葉の辞典。
「全米が泣いた」や「行けたら行く」などスラング的な言葉や、世の中にはないけどこれから生まれてくるかもしれない言葉を実際の国語辞典で説明されるような文体・言い回しで解説されていてそれが絶妙な面白さとなっていて一笑したい時には必見。
国語辞典よりも長編小説よりも分厚くない、読み終えたあとの満足感は分厚い。そんな一冊。

ビブリオバトル 準チャンプ本

キケン

作者:有川浩



☆青春小説が好きな人・理系、工学が好きな人
成南電気工科大学には「機械制御研究部」、通称「キケン」というサークルがある。そのサークルには一癖も二癖もある部員と一年生の元山高彦の黄金時代を描いた青春小説。
犯罪スレスレ、破壊的行為などの現実世界では味わえないスリルや学生時代しか味わえない青春模様のバランスが絶妙で日常にちょっとした刺激がほしい人は必読の一冊。

九十歳。何がめでたい

作者:佐藤愛子



☆エッセイ好きにおすすめ

90歳の佐藤愛子先生の「ヤケクソ」感の籠もった痛快エッセイ。

90歳という長い年月を生きてきて自分の身に起こった経験をもとに、毒舌かつ論理的な裏付けをしてバッサリと切り捨てていく文章が読んでいて様々な気づきを与えてくれる一冊。

筆者と自分の考えを比べて、共感するもよし、反論するもよし。

ヨモツイクサ

作者:知念 実希人



☆ホラー好きにおすすめ

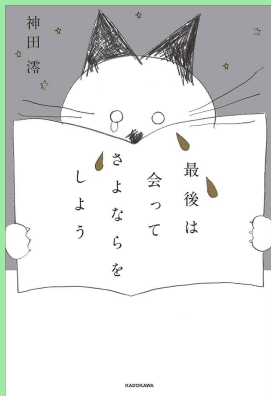
北海道旭川に「黄泉の森」と呼ばれる、アイヌの人々が恐れてきた「禁域」があった。

そんないわくつきの場所を大手ホテル会社が開発をしようとする。しかし、開発のために森に入った作業員たちが行方不明になってしまった。そして、現場には「何か」に蹂躪された痕跡が残されていた。この何かとは一体何者なのか。そして禁域に足を踏み入れてしまった人間の末路とは...

医療ミステリーの最前線で活躍する作者によるバイオホラー作品。

最後は会ってさよならをしよう

作者:神田澤



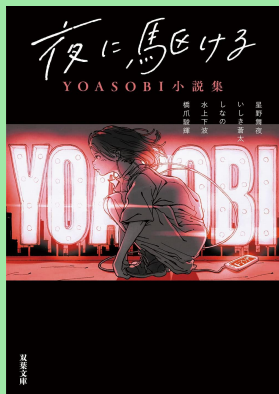
☆短編集が好きな人・本を読むことが苦手な人におすすめ

全てのストーリーが140字内で完結する超短編小説。読書が苦手な人も、この本が読書の楽しさを気づかせてくれるかも。

恋愛、ミステリー、SF、コメディなど多種多様なジャンルのストーリーが一冊に凝縮されている。読みたいと思ったジャンルがその場ですぐに読めるため、学校の休み時間などのスキマ時間でサクッと読めて気分転換にもなり持っていて損はない一冊。

夜に駆けるYOASOBI小説集

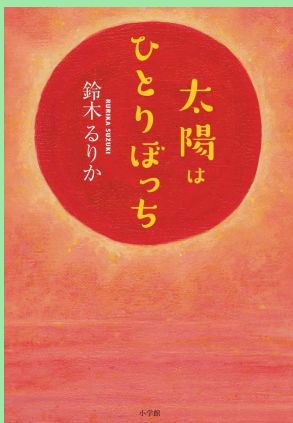
作者:星野舞夜 いしき蒼太
しなの 水上下波 橋爪駿輝



☆歌が好きな人、歌詞を深堀りしたい人におすすめ
Ayaseとikuraの二人からなる「小説を音楽にするユニット」YOASOBI。「夜に駆ける」や「あの夢をなぞって」など、誰もが一度は見聞きしたであろう有名楽曲の元となる小説が収録されている。音楽ではなく小説として読み解いていくうちに、なんとはなしに聞き流していたフレーズに込められた深い意味を知り、また更に曲が好きになる。そんな一冊。個人的に特に好きだったのは、「あの夢をなぞって」のお話。

太陽はひとりぼっち

作者:鈴木るりか



☆現実味のあるお話が好きな人におすすめ
花実は中学生となった。ある日、家の前に見知らぬビジネスマンがやって来る。彼は一体何者なのだろうか？さらに別の日にはやせた老婆が家の前に座り込んでいて……。次々登場する謎めいた人物が引き起こす大騒動。一つ一つの事件に込められた人々の思い、苦しみ、葛藤。生きることへの希望を力強く説き、心に染み渡る。そんな一冊。デビュー作である「さよなら、田中さん」の続編だが、ひとつの新しい文芸作品として意欲的に取り組まれた一作だそう。

同志少女よ敵を撃て

作者:逢坂冬馬



☆改めて戦争について考えたい人におすすめ
独ソ戦が激化する最中、モスクワ近郊の農村に暮らす少女セラフィマの日常は突如として奪われた。急襲したドイツ軍によって母親や村人たちが惨殺されたのである。女性兵士に命を救われ、敵に復讐を果たすことを誓った彼女は、同じような境遇で家族を喪い、戦うことを選んだ仲間と訓練を重ね、やがて赤軍女性狙撃小隊の一員として戦場に向かうことになる。女性だけの狙撃隊の一員として、過酷な戦場を生き抜く少女の姿を描いた物語。

のぼうの城

作者:和田竜



☆戦国時代の話が好きな人におすすめ

織田信長の死からわずか8年。天下を目前にした豊臣秀吉は、小田原征伐を開始した。

小田原城の支城、忍城の城代、成田長親。知略にも武勇にも長けていない彼だが、領民から「でくのぼう」を略して「のぼう様」と呼ばれ親しまれていた。

秀吉の命によって攻め入った2万もの大軍に降伏を覚悟する忍城軍だが、長親はわずか500の兵で戦いを挑む。

不落の城、忍城。その秘密とは。

タイタンの妖女

作者:カート・ヴォネガット・Jr.



☆骨太なクラシックSFファンにオススメ

「タイタンの妖女」は、1959年に発表されたSF小説。全米一の大家富豪マラカイ・コンスタントが、時空を超えた存在ウィンストン・ナイルズ・ラムファードに操られ、太陽系を流浪する物語です。自由意志、全能、人類の歴史の目的といったテーマを、ヴォネガット独特のユーモアとシニカルな視点で描き出している。かの村上春樹や爆笑問題の太田光も、このヴォネガットの「タイタンの妖女」のに大いなる影響を受けたとのこと（太田光は自らの芸能事務所を「タイタン」と名付けた）。1973年には星雲賞長編部門を受賞。

イマジン

作者:清水義範

清水義範



☆親子関係に悩んでいる人におすすめ

主人公の翔悟は、父親との確執を抱える20歳の青年。ある日突然、1980年の世界へとタイムスリップし、そこで若き日の父親と出会う。最初は反発しあっていた二人だが、ひょんなことから「ジョン・レノンを救う」という共通の目標を持つことに。

タイムスリップというSF的な設定を軸に、親子関係、友情、そして音楽への愛情が織り交ぜられた物語。清水義範らしいユーモアと軽快な筆致で、過去と現在を行き来する不思議な旅へと誘われること請け合い。

ウィーンの冬

作者:春江一也



☆サスペンスロマン好きにおすすめ

日本を舞台とした元外交官の筆者が描くリアルで臨場感の溢れる、サスペンスロマンスストーリー。冷戦末期の日本のノンキャリア外交官の主人公は「東欧専門家」としてドイツや対ソ連外交で一定の活躍をしていたが、人事異動により外務省をクビになる。そのことを恋人にも言えぬまま、窓際のような職場で働いていた中、首都急送理事長の誘いに乗ってから、過去の弟にまで踏み込むことになっていく。

ベルリンは晴れているか

作者:深緑野分



☆歴史サスペンスが好きな人におすすめ

20世紀、強権と戦争下のドイツ国、ナチス、アメリカにソヴィエトも、本当の味方なんていない。信じることが出来る人間は、一握り。その世の中で起こるドイツの一つの殺人。被害者はドイツ人慈善家夫婦の夫。死因はアメリカ製歯磨き粉に混ぜられた毒。そして、事件現場はソヴィエトの占領地域内。アメリカとソヴィエトの関係がこじれていく最中、混ざるはずのなかった、2つの要素が生んだ、最悪の事件。容疑者として呼び出された少女は、策略を巡らされた檻の中をまっすぐに突き進んでいく。ナチスドイツの国民の中の自我を描く一冊。

みかん、好き？

作者:魚住直子



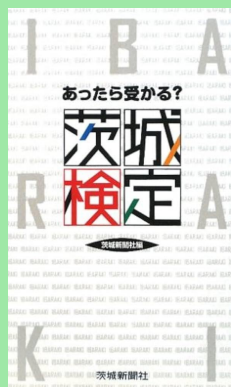
☆みかん好きに絶対、読んでほしい一冊

皆さんは、みかん好きですか？私は大好きです。数ある本の中から目に止まった「みかん、好き？」の文字。つい返事をしてしまいそうになりました。

この物語は、瀬戸内海にある島に住む、主人公である拓海が、東京からやってきた大のみかん好きの女の子、長谷川ひなたと出会うところから始まります。そして二人は拓海の祖父が持つ、みかん畑で一緒に作業の手伝いをするようになりました。農作業が好きではない拓海が、長谷川と一緒に多くの経験をしてみかんに対する考え方が変わりながら成長していく物語です。ぜひ読んでみてください。

あったら受かる？茨城検定

作者:茨城新聞社



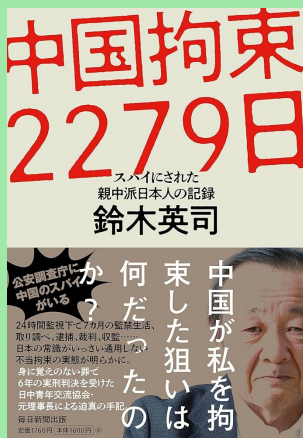
☆茨城県民、全員読んで！！

この本は、茨城新聞社が出した本です。常識問題から県民でもわからないようなとっても難しい問題までたくさんの問題が揃っています。問題と解答、解説がついているので、間違えてしまってもしっかりと知識をつけることができます。

休み時間などに友達と問題を出し合って仲を深めるのもよいですね。あなたは何級を取ることができるでしょうか？ぜひ読んでみてください。

中国拘束2279日

作者：鈴木英司



☆政治好きにおすすめ

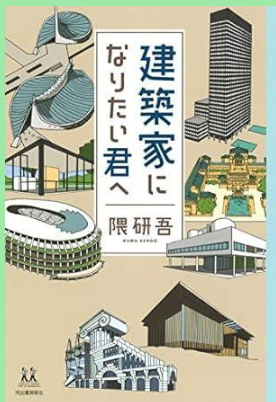
中国が私を拘束した狙いは何だったのか？ 24時間監視下で7カ月の監禁生活、取り調べ、逮捕、裁判、収監.....

日本の常識がいっさい通用しない不当拘束の実態が明らかに。

身に覚えのない罪で6年の実刑判決を受けた 日中青年交流協会・元理事長による迫真の手記。

建築家になりたい君へ

作者:隈研吾



☆建築好きにおすすめ

2020オリンピックの会場を手掛けた世界的建築家隈研吾氏が中学生に贈るメッセージ。

「建築物は大きいけれど、その仕事は小さなことの積み重ねでできている。」

建築が好きな人もそうでない人もこの本を見れば建物の見方が変わる。

中学生こそ見るべき一冊。

建築のその先とは....

ノルウェイの森

作者:村上春樹

ノルウェイの森
村上春樹

村上春樹

☆長編小説・純文学好きにおすすめ

高校時代の親友であるキズキを自殺で失ったワタナベは、東京の大学へ進学し、偶然にもキズキの恋人だった直子と再会する。そこから二人は親密な仲へと発展していく。しかし、ワタナベは大学で緑という同級生に出会い…。

ワタナベを中心に人間の脆さや繊細さが、筆者特有の作風で丁寧に描写されてゆく。また、生と死などの哲学的テーマが魅力の一冊。

八日目の蟬

作者:角田光代

角田光代

八日目の蟬

☆サスペンス小説好きにおすすめ

不倫相手の子供を誘拐した希和子。希和子は誘拐した赤ん坊と縁もゆかりもない土地を転々としながら逃亡を続ける。果たして、3年半にわたる希和子と赤ん坊の逃亡劇はどのような結末を迎えるのか…。

逃亡中という事実がもたらす緊迫感と、ごく普通の親子や会話の安心感のアンバランスさがこの作品の魅力存分に引き出している。

また、この小説は「母性」を中心に家族愛や日常感などもテーマにされていて、普通の幸せとはなにかを考えさせられる一冊。

りんごかもしれない

作者:ヨシタケシンスケ



☆読みやすく面白い本を探している人におすすめ

テーブルの上にある『りんご』を見た主人公の男の子が、『りんご』を巡って様々な視点でアイデアを展開し想像を広げていく話。

読んだら自分も、物事の裏側などを妄想したくなってしまう。

絵本なので読みやすい、でも絵本っぽくない面白さ。

読む本に困ったら、とりあえず手にとってほしい本。大人気絵本作家ヨシタケシンスケさんのデビュー作。

#真相をお話します

作者:結城真一郎



☆どんでん返しのミステリーが好きな人におすすめ
5つの話が入った短編ミステリー集でサクッと読み進めることができ、伏線回収などのどんでん返しがとても面白い作品。
日常に潜む小さな歪みをあなたは見抜くことができるだろうか。
日本のいまとミステリーが融合した話題の一冊。

猫社会学、はじめます

作者:赤川学



☆猫好きにおすすめ
猫が今のように人気の動物になるまでの軌跡や、猫の「かわいさ」について分析したデータなどを紹介している本。
グラフや写真付きで解説されているので内容が理解しやすい。
猫についてもっと知りたい、猫が大好きだ、という方にぜひ読んでほしい一冊。

Dr.STONE

作者:稲垣理一郎



☆科学好きにおすすめ
ある日突然、地上に謎の光が降り注ぎ、世界中すべての人類は石になってしまった。
数千年後、文明が消え去った世界で石化から目覚めた千空とその友の大樹は、ゼロから文明の再興を目指す！
文明再興、石化の謎...様々な事象を科学を駆使して解決していくSFサバイバル冒険譚！

みんな蛭を殺したかった

作者:木爾チレン



☆新しいミステリーを体験したい人におすすめ
京都のある学校に蛭という少女がやってくる。
蛭は、葉とその友達と中を深めていく。しかし、蛭は自殺してしまう。一体彼女の身に何があったのか。
木爾チレンさんの黒歴史シリーズ第一弾。
読み進めていくうちに衝撃的な展開を迎えるそんな作品になっている。

永遠の0

作者:百田尚樹



☆特攻隊について知りたい人におすすめ
健太郎は、実の祖父を姉とともに祖父の戦友を尋ねていく。調査の中で明かされていく祖父の素顔。
天才で、臆病者。想像とは違う素顔で、驚きながら、出て来たもう一つの疑問。それが明かされる時、バラバラだったピースがすべて合わさる。
戦時中、一体特攻隊は何を思いながら戦ったのだろうか、知ることができる一冊。

やばい世界史

監修:本村凌二



☆「日本の歴史だってよく知らないのに、まして世界史なんて、全然わからない!」と思っている人におすすめ
世界史に出てくる偉人は時代も国も違う人が次々登場して、難しい気がする。だが、彼らは皆ただの「人」。いろんな時代の、色んな国の、数え切れないほど沢山の人が考え、行動した結果が積み重なって出来たのが『世界史』。世界は広くてその歴史は長い。一人一人の「人」に迫ることできっと見えてくるものがあるはず。
すごいとやばいで、世界の歴史がざっくり分かる!!
歴史の見え方、捉え方が変わる一冊。

私の幸せな結婚

作者:顎木あくみ



☆恋愛漫画、小説好きにおすすめ
名家に生まれながらも継母と異母妹に虐げられて、使用人以下の扱いを受けながら19歳になった美世は、名家・久堂家の当主で27歳のエリート軍人・清霞(きよか)と政略結婚させられることになる。
久堂家で過ごすうち、美世は冷酷無慈悲な男だと噂される清霞の本当の姿に気づき、心惹かれていく...
これは彼女が愛されて幸せになるまでの物語。

はたらく細胞

作者:清水茜



☆細胞についてわかりやすく知りたい人におすすめ
『働く細胞』は人体内で働く細胞たちを擬人化し、彼らの冒険を描いた作品。
免疫細胞や赤血球の役割がわかりやすく、身体の仕組みを学びながら楽しめる。ユーモアと感動を交え、健康への意識も高めてくれる魅力的な作品です。
佐藤健さん主演で実写映画化もされました。

ハリー・ポッターと賢者の石

作者:J.K.ローリング



☆ファンタジーや魔法の世界が好きな人におすすめ
『ハリー・ポッターと賢者の石』は、魔法の世界で成長する少年ハリーの冒険を描いた物語。
友情や勇気、自己発見のテーマが心を打ち、魔法や謎解きの要素が読者を引き込む。
豊かなキャラクターと緻密な世界観が、誰もが夢中になる魅力を持っています。
世界中でベストセラーになり、実写映画化したものも、大ヒットしました。